

第1回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成30年3月28日(水) 18:00～20:15

場所：市役所第一会議室

日程

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 各委員自己紹介
5. 会長、副会長の選出
6. 境港市民活動推進補助金審査
7. 今期取組テーマについての協議
8. そ の 他
9. 閉 会

出席者（敬称略）

（委員）

渡部敏樹	遠藤恵子	松本幸永	徳尾勝	松田真二	松本信子
渡辺冬樹	遠藤緑	門脇京子	糸川諒	岩本和貴	足立勲

（事務局）

沼倉加奈子（地域振興課長） 木下泰恵（地域振興課長企画係長）
渡部大樹（地域振興課企画係主事）

（傍聴者）

1名

<開会>

（地域振興課長）

皆様、こんばんは。ただいまより「第1回みんなでまちづくり推進会議」を開催いたします。

私は、事務局を担当しております地域振興課長の沼倉と申します。隣が係長の木下と担当の渡部ですので、よろしく申し上げます。

このみんなでまちづくり推進会議の委員は今回で第6期となります。本日が新しく委員をお願いしてから第1回目の会議になります。

それでは、最初に市長からごあいさつをさせていただきます。

(市長)

皆様、こんばんは。本日は、ご多用のところご出席いただき、誠にありがとうございます。

このたびは、第6期となります「みんなでまちづくり推進会議」の委員をお願いいたしましたところ、快くお引き受け下さいましたことに、心からお礼を申し上げます。

今回は12名の委員のうち、新たに7名の方に就任していただきました。また、さまざまな世代の方からご意見を伺うために、青年会議所とまちづくり若者委員会からも、それぞれご推薦いただいたところでもあります。

なお、本日もご欠席ではありますが、島根大学法文学部の毎熊准教授にも、引き続き、アドバイザーとして、ご専門の立場からご助言をいただくこととしております。

さて、私は、「自分たちの住むまちは自分たちで考え、自分たちで創り上げていく」このことを、まちづくりの原点として、「協働のまちづくり」を進めてきたところでもあります。この間、平成19年には、「みんなでまちづくり条例」を制定し、今日では、子どもたちへの読み聞かせ活動や公園や広場の清掃活動など、様々な場面で協働の取り組みが展開されており、本市において着実に浸透しつつあるものと実感しておりますが、こうしたまちづくりの進め方は、今後一層重要になってくるものと考えております。

皆様方には、その推進役として、これから2年間、様々な視点からご提言等いただきますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

(地域振興課長)

ありがとうございました。続きまして委嘱状の交付となります。本来であれば、委員の皆様へ直接お渡しすべきところですが、この後補助金審査や協議もあることから、時間の関係上、あらかじめ席上に配布させていただき、委嘱状交付に代えさせていただきます。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、第1回目ですので、委員の皆様から一言ずつご挨拶をいただきたいと思いません。

(委員)

資料に条例が付いておりまして、懐かしく思っております。条例を作るために素案を考えて、1年で作らなくてはいけないところを2年間に延長してさせていただいて、完成させました。そうやって作った条例が本当に機能するのだろうか、ということで第1期から務めさせていただいております。そのときのメンバーはみんな辞めてしまって私も卒業しようと思っていたところですが、若い方が多く入るということで、もう2年間頑張ってみようと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

第3期から務めさせていただいております。女性として、主婦として、おばさんとして何かできることはないだろうかあと2年頑張ります。よろしくお願いします。

(委員)

市民活動センター連絡協議会の会長が自分に変わったときからこちらの委員を務めさせていただいております。吹奏楽の団体もやっておりますし、この委員以外にも色んなところに顔を出しておりますので、そういった経験を生かしていけるよう頑張りたいと思います。

(委員)

ボランティアセンター運営協議会から出させていただいております。ボランティアとして色んなところに参加してきている立場から、市の活性化に少しでも役に立てればと考えております。よろしくお願いします。

(委員)

夕日ヶ丘で自治会長をしております。境港に移住してから12年が経ちます。この会議がどんなものかまだ分かりきっていないのですが、力になればと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

ボランティアセンター運営協議会から出させていただいております。ボランティアの立場から、また、地域の方でも少し仕事しておりますので、地域の立場から、境港市が少しでも明るい町になるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

今日は青年会議所から参加させていただいております。また、子どもが3人いまして、小学校や保育所では役員をしたり、消防団にも入っております。そういった自分の経験を生かして、意見を出していけたらと考えております。よろしくお願いします。

(委員)

まちづくり若者委員会から参加させていただいております。境港市で育てていただいたので、少しでも役に立てればと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

境港中国文化研究会の所属ですが、どういう団体かと言うと、平たく言えば、境公民館で中国語を勉強しているグループで、境港市が瑋春市と姉妹提携をした25年前に設立さ

れました。海外諸国と市民交流をしながら、国際都市を目指してまちづくりをしていこうと考え、活動しておりますので、こちらの会でも、まちづくりに関して、役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

今回、毎熊准教授の方からお話をいただきまして、自分は将来公務員になりたいと思っておりますので、行政がどのようなことを行っているのか学べる良い機会だと考え、参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(委員)

仕事は消防士をしておりまして、休日は小・中・高と野球の指導をしております。私は境港市を愛しておりますので、境港市のために出来ることはないだろうかと思い、応募させていただきました。モットーは「人の笑顔のために生きる」です。よろしくお願いいたします。

(委員)

仕事を辞めてから5年ほど経ちます。現在は、自治会の仕事と、ボランティアで児童の見守り活動をしております。そういった活動が少しでも役に立てばと思い、応募させていただきました。よろしくお願いいたします。

(地域振興課長)

皆さまありがとうございます。本当に幅広い層から幅広い活動をしておられる方々がお集まりになられたなと嬉しく思っております。

また、本推進会議のアドバイザーには、引き続き、島根大学法文学部の毎熊浩一准教授にお願いしております。本日はご欠席ですが、略歴等につきまして、委員名簿の下に記載しておりますので、ご紹介に替えさせていただきます。

ここで、誠に申し訳ございませんが、本日市長が所用のため、これで退席いたします。

(市長)

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

※市長退席

(地域振興課長)

続きまして、会長、副会長の選出です。【資料1】委員名簿の裏面に、条例及び規則から一部抜粋したものを付けておりますので、そちらをご覧ください。規則第11条によって、会長及び副会長は委員の互選により定めることになっておりますので、委員の皆さまからご提案はありませんでしょうか。

(委員)

事務局の方からお願いします。

(地域振興課長)

事務局の方から、という声がありましたが、事務局から会長、副会長を提案させていただいてよろしいでしょうか。

(委員)

はい。

(地域振興課長)

ありがとうございます。では、今期は半数以上の新しい委員の方をお迎えしたところでもございますので、第5期でもお世話になりました松本幸永さんに会長を、門脇京子さんに副会長を引き続きお願いしたいと存じますが、皆さま、いかかでしょうか。

※委員より拍手

(地域振興課長)

ありがとうございます。皆さんのご了解もいただきましたので、お二人にお願いいたします。ここで会長の松本さんと副会長の門脇さんからそれぞれ一言お願いできればと存じます。

(会長)

会長にご推薦いただき、ありがとうございます。どれだけお力になれるか分かりませんが、皆さまと一緒にまた頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

(副会長)

私も皆さまと一緒にがんばっていきたく思います。どうぞよろしく申し上げます。

(地域振興課長)

それでは、以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。

また、【資料2】につきましては、境港市みんなでまちづくり条例の内容について、説明した資料となっております。今後の参考にしていただきたいと思います。

(会長)

その資料について、1点修正をしていただきたいと思います。9ページの【公表の方法】に「③市報さかいみなど（原則、毎月5日発行）」とありますが、今は「毎月1日発行」になっていますね。

(事務局)

修正いたします。

(会長)

それでは、市民活動推進補助金の審査に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

例年、1回目は4月に募集をしていましたが、審査が5月初旬になってしまうことから、4月に事業を開始する団体は対象外となっていました。その点について、前期委員の皆さまからも指摘があり、この度、募集回数を1回増やし、4月～5月初旬に実施する事業を対象に、新たに3月に募集期間(3/1～3/15)を設けましたところ、1団体の申請がありました。審査員の皆様には、お忙しい中、事前に書類審査をしていただきました。ありがとうございました。

事前審査による申請団体の評価点は、別紙のとおりとなりましたので、ご確認ください。審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、この後行われるプレゼン後に得点修正があればそこで修正していただき、審議をしていただきます。

それでは、本日の審査会の進め方について説明いたします。

ヒアリング審査員3名と地域振興課長の計4名でヒアリング審査を行います。ヒアリング審査員3名については、あらかじめ事務局の方で、決めさせていただきました委員の方にお問い合わせしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※委員異議なし

続きまして、ヒアリング審査の仕方を説明いたします。

まず最初の3分間で申請団体から申請概要説明をしていただきます。その後、残りの12分間でヒアリング審査員の方に質疑をしていただきます。質疑にあたっては、このあと、委員の皆さまでどのような質問をするか、また誰がどの質問をするかという打ち合わせをする時間を設けたいと思います。ですので、質疑にあたっては、ご自身で考えられた質問のみならず、お手元にあります「審査表集計結果」にあります皆さまの意見を委員の代表として述べていただくようお願いいたします。なお、質疑の間、ヒアリング審査員以外の方には、傍聴をしていただきますようお願いいたします。

プレゼン終了後に皆様に審議していただきます。そこで、事前にご記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考にしながら採択・不採択の決定を行っていただきます。各事業とも30点満点で、6割の18点が採択の基準点となっております。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。無いようでしたら、審査内容の打ち合わせを行いたいと思います。

※委員質問なし

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 境港美保ライオンズクラブ

- ・申請事業 第2回さかいみなど砂浜ウォーク
- ・事業内容 弓ヶ浜半島の砂浜を全国にPRするとともに、砂浜の美化推進活動を啓発することを目的とし、「さかいみなど砂浜ウォーク」を開催する。

(委員)

どのような広報をされていますか。

(境港美保ライオンズクラブ)

昨年、来られた方にダイレクトメールを送っています。それから、協賛いただいております鳥取県ウォーキング協会やノルディックウォークの協会といったウォーキングを専門としている団体にチラシを配布したり、ことあるごとにPRに行ったりもしています。また、道の駅等でのチラシの配架と、中海テレビや雑誌での広報をしております。

(委員)

一般市民への周知は。

(境港美保ライオンズクラブ)

公民館へのチラシの配布をしています。

(委員)

一般市民にどれほど伝わっているのかという疑問があります。

(境港美保ライオンズクラブ)

境港市においては、観光協会が年を通して、ウォーキング大会をしています。その中で、秋は「妖怪ウォーク」をメインとして、春は「砂浜ウォーク」をメインとしていこうと頑張っております。その他にも、毎週ウォーキングイベントがあります。

(委員)

内容として「ハード」であるという発言がありましたが、参加予定者は一般人よりも、ウォーキング愛好者が多い想定なのでしょうか。

(境港美保ライオンズクラブ)

愛好者が多いと思います。インターネットでも受け付けていますが「WALK IT」というウォーキングのポータルサイトに掲載しておりますので、県外からも申込みがあります。砂浜を歩くというのなかなか全国にありません。

(委員)

清掃活動も行っており、イベントの参加者にはそのPRもするというのですが、どのように行いますか。

(境港美保ライオンズクラブ)

歩く途中にゴミがあれば、ビニール袋を渡して回収してもらおうかと思います。

(委員)

ウォーキングしながら、清掃も行うということですか。

(境港美保ライオンズクラブ)

まあ、事前に清掃は行うので、ほとんどゴミはないと思います。

(委員)

前回、市内の方はどれくらい来ましたか。

(境港美保ライオンズクラブ)

具体的な数字は分かりません。米子や郡部、島根県の方が多かったです。米子と境港が全体の半分くらいです。

(委員)

若い方が多いのでしょうか。

(境港美保ライオンズクラブ)

決してそうではありません。ウォーキングされる方は高齢者が多いです。ただ、今回は、ハンドボール協会の子どもたちが「ビーチハンドボール」という競技を参加者に見せるといメニューがありましたので、そういった意味では、子どもたちの参加もありました。

(委員)

参加された方からはどんな感想がありましたか。

(境港美保ライオンズクラブ)

カニ汁が好評で、参加される方はカニ汁を食べたくて来ます。今回は、おにぎりを付けていましたが、今年は出雲そばも付けようかなと思っています。

(委員)

愛好者が多いということは、ノルディックポールをお持ちの方もおられるかと思います。本数は前回は考慮した本数ですか。

(境港美保ライオンズクラブ)

前回は50組用意しました。やはり、皆さん使いたいということで、今回は100組にしました。急ぎよ、ノルディックウォークの協会にお願いして増やしてもらいました。

(委員)

市からの補助金になるわけで、一般の市民も参加しやすいイベントであってほしいなと思うのですが、7kmというコースは少し参加のハードルが高いように思うのですが。

(境港美保ライオンズクラブ)

私たちがそれを心配していたのですが、前回、途中棄権した方はいませんでした。ただ、辛ければ砂浜でなく、サイクリングロードを歩いてもらうようにも案内しています。

(委員)

7kmだけでなく、1kmですとか、いくつかコースが選べれば良いかと思いますが。

(境港美保ライオンズクラブ)

コンセプトが「砂浜を歩く」というものですから、健脚を競うという面もありまして、それを目当てに来られる方もおられます。境港では既に、複数のコース設定があるウォーキングイベントがありますから、このイベントに関しては、砂浜というコンセプトがあるので、こういう形になってしまいました。ただ、途中で折り返すコース設定も良いかもしれませので、今後の検討課題にしたいと思います。

(委員)

良いイベントなので、長く続けてほしいと思います。仮設の橋が13万円ということですが、今後続けていくにあたって、どのように管理していくお考えですか。

(境港美保ライオンズクラブ)

撤去します。毎回作って撤去という流れになります。

(委員)

では、次年度も同様のものを作るということですか。高額ですが。

(境港美保ライオンズクラブ)

強度的にいいかげんなものはできませんので、そうするつもりです。

(委員)

ドローンを使用されるということですが、どのような効果が期待できますか。

(境港美保ライオンズクラブ)

テレビ局からの問い合わせがあるものですから、データを提供して、放映してもらって、次回への宣伝としたいと思っています。また、参加者からデータが欲しいと言われれば、提供したいと思っています。

(委員)

通常のビデオカメラでも良いと思いますが。

(境港美保ライオンズクラブ)

ビデオカメラでも撮影します。

(地域振興課長)

事業の目的に「地域資源である弓ヶ浜半島の砂浜を全国にPRする」「砂浜の美化推進活動を啓発する」とありますが、市民活動推進補助金ですので、団体の市民活動をどう発展させていくか、また、市民の参加をどう促していくか、教えてください。

(境港美保ライオンズクラブ)

美化推進に関しては、市報のほうで広報させていただいております。実際に、市民の方も参加されております。1回の清掃で、我々のメンバーと市民のボランティアの方々が30人くらい集まります。そういった輪をどんどん広げていけるようにしたいと思います。ドローン撮影もそうなのですが、良いものを記録して、伝えていくというのが大切かと思えます。砂浜から見える大山はとてもきれいですから、こういったことが全国に伝わって行って、市民の方も「きれいにしなきゃいけないね」となっていけば良いと思います。それに全国から来る方は、我々が掃除をしていると、一緒にやってくれます。なので、少しずつ輪は広がっているかと思えます。

(地域振興課長)

砂浜ウォーク自体は1度きりのイベントですが、前後に美化推進活動を市民を巻き込んで実施されるということでもよろしいでしょうか。

(境港美保ライオンズクラブ)

はい。市報を見てください。

(地域振興課長)

市報は承知しております。

秋は「妖怪ウォーク」、春は「砂浜ウォーク」というのは今後も継続されますか。

(境港美保ライオンズクラブ)

はい。我々の勝手な思いかもしれませんが、これを2枚看板として広報していきたいと思えます。

(地域振興課長)

前は、ウォーキングだけでなく、「ビーチハンドボール」の実演も行ったということでしたが、今後も、そういった砂浜を活用したスポーツも盛り込んでいかれるのでしょうか。

(境港美保ライオンズクラブ)

はい。イメージとしては、「砂浜の運動会」です。市民の方がみんな集って、運動会ができれば良いなと思っております。

(委員)

最後によろしいでしょうか。イベントの参加者が限定されている印象があるのですが、一般の方も楽しく見学ができる、また、少しでも歩いてみようと思えるようなコース設定を今後検討していく予定はありますでしょうか。

(境港美保ライオンズクラブ)

前は、犬を連れて来られた方もいましたし、高齢者の方で、途中まで歩くといって参加された方もいました。なので、限定しているわけではございません。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。(以下、非公開)

<審査会終了> (非公開、終了)

続いて、今期の取組テーマに移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

まずは、今年度のスケジュール(案)について、ご説明します。【資料3】をご覧ください

い。(以下スケジュール案を読み上げた)

まずは、第6期の推進会議で取り扱うテーマについて、決めていく必要がございます。第5期は、「若い世代の参加」というテーマで協議を行いました。若い世代はなぜ参加しないのか、参加させるにはどうしたらよいかという点を追及して、島根大学の毎熊アドバイザーと共に、島根大学の学生をこちらに呼んで、話し合いをしたり、また、委員の皆さまが一人ずつ若い方を呼んでいただいて、話し合いをし、若い世代の意見を聞いていくということをしました。結果、第5期では、報告書という形で先日、会長と副会長から市長にご提出していただきました。資料とは別に、お手元に報告書を配布させていただいております。本日、市のホームページにも掲載させていただきました。また、市の職員にも周知し、市の職員も勉強させていただいているところです。

さて、第6期のテーマですが、【資料4】をご覧ください。参考までに、事務局から一例をあげてみましたが、必ずしもこの中から決めていただくものでもありませんので、ご理解ください。(以下、例を読み上げた)

また、これは、テーマが決まってからになるのですが、協議をどのように進めていくか。そして、最終的にどのようにまとめあげるのか、といったことも検討していきます。

その他の資料として、【資料5】「まちづくり総合プラン(概要版)」と本文から一部抜粋したものもつけております。「まちづくり総合プラン」は市の施策の基本となる一番大きな計画であり、その中に5つの基本目標があります。5つ目の目標として、「市民との連携による誠実が行政運営」(概要版最終ページ)とあり、その中の具体的施策に「協働のまちづくりの推進」が掲げられております。この部分を本文から一部抜粋しておりますので、こちらをご参照いただけたらと思います。

(会長)

とりあえず、決めるべきはテーマということになります。事務局から例が挙りましたが、これはあくまで一例ですので、こんなことがしたいというのがありましたら、次回の会議までに考えていただきたいと思います。

事前に事務局に提案なり、相談なりしていただいてもよいと思いますので、よろしくお願ひします。

これにつきまして、何か質問がある方はいらっしゃいますか。

(委員)

協議というのがずっと続きますが、テーマを決めるのはいつまででしょうか。

(地域振興課長)

次回になります。次回でテーマを決めて、その次にはまるまる時間を使えますので、そこでじっくり方向性を決めたいと思っています。それで、今回挙げさせていただいたのはあくまで例ですので、次回までに、または次回にご発言いただければと思います。

(委員)

老婆心ながら、今期初めての方も多いので、改めて説明させていただくと、この委員の役目は市民活動推進補助金の申請に対しての審査と、2年間をかけて私達で何かテーマを設けて取り組むということが主です。そのテーマを何にしましょうかというのが今の段階です。

(会長)

「③境港市のまちづくりについて」に関連してですが、2月に公民館活動研究集会で『健康長寿のまち 境港市をめざして』という講演がありました。その中で、地域には様々な財産、資源があって、それを掘り起こして活用していけば、最終的には雇用に繋がるというお話がありました。それで、うちの自治会で「この地域で何か自慢することはないだろうか」と話し合ってみました。そういったことでも良いかもしれません。

(委員)

2年間ということで、東京オリンピックと絡めて何か地方としてできないかなという気がします。それで、やるなら地域を巻き込んでやりたいですね。

(委員)

海岸の方がどんどん発展していて、ほっておいても発展するのですが、市民が参加する余地が全然ないですから、それではみんなが燃えるようなものは何もないということになってしまふんですね。ですから、理想は、市民が一つになって向かっていけるような目標を作ることですね。

(委員)

夢みなと博覧会では、高校生のボランティアが活躍しました。自分たちで作り上げていくという流れがありました。

(委員)

色んな団体が関われるようなものが良いですね。

(会長)

方向性が見えてきました。では、皆さまには次回までにテーマを考えていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、第1回のみんなでまちづくり推進会議を終了します。次回の会議日程については、事務局と調整の上、ご案内いたします。委員の皆様、長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。